

### 平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	上松木工・木育拠点整備事業
事業主体 (連絡先)	上松町 木曾郡上松町駅前通り2-13
事業区分	(6)ウ 森林づくりと林業の振興
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	3,226,233円 (うち支援金: 2,481,000円)

#### 事業内容

上松技術専門校修了生を主な対象として、地域おこし協力隊制度を活用した人材育成、起業準備及び雇用創出を一体的に推進する拠点を整備した。

また、本拠点において上松町産オリジナル家具・木工品の開発を行った。今後、ふるさと納税制度等を活用した製品の対外的なPRを実施予定である。

- ・空き工場の改修及び木工機器等の導入を実施し、町の木工・木育拠点として木工所を整備
- ・ふるさと納税返礼品のサンプルとして、子供用椅子及びスツールを開発



【拠点整備の様子】

#### 事業効果

①平成31年3月2日に上松技術専門校で開催された「ひのきの里の技能祭」に併せて本拠点のプレオープンイベントを開催した。

同イベントにおいては、同校OB・OGのほか郡内木工業関係者の参加もあるなど計50名ほどの来場者があり、上松町木工業振興の端緒が見えた。

②平成31年4月より上松技術専門校修了生2名が上松町地域おこし協力隊(木工部)として委嘱される予定である。

同採用説明会では同校生徒20名ほどの参加があったほか、本拠点の整備活動や協力隊主催の木工勉強会に複数名の生徒の参加があるなど、本事業に係る活動に対する関心の高さがうかがえたとともに、卒業後の進路として従前は町外流出が主だったところ、町内にとどまる新たな選択肢が創出された。

#### 【目標・ねらい】

- ①「木工のまち、あげまつ」を目指した地域木工業の振興
- ②上松技術専門校修了生を主な対象とした人材育成、起業準備等の場の創出

#### ※自己評価【A】

##### 【理由】

- ・SBCラジオ「もっと松本！」で本事業に係る活動が特集された
- ・朝日村クラフトイベント「冬のトビラ」で多くの参加者に本拠点及びその活動が周知された。

#### 今後の取り組み

本拠点やこれに基づく活動又は製品、技術等を対外的にPRし、「木工のまち、あげまつ」のブランド確立を目指す。

これに向け、平成31年度においては、町が総括して上松町木工業のPR体制を構築、運用することを目的に、中心市街地を形成する駅前商店街の空き店舗を活用した木工ギャラリー(展示、販売等スペース)の整備、木工作品や技術の魅力等を詳細に伝えるためのWebサイト及びカタログ制作等を予定している。